

に、限られた市の予算の中では、新たにコミュニティバスを導入するよりも、既存の交通機関である阪急バス等をもっと有効に活用していくほうがよいのでは、という方向性が出てきた。そこで、阪急バスに対しても要望や提案を行っていくとともに、市民向けにもっと公共交通機関の利用を啓発していくことが必要であるとの考えから、昨年度末に「市内公共交通マップ」を作成し、配布を行ったところである。

今日は、そのマップの配布状況等も含めて、事務局からその後の活動報告をお願いしたい。

(事務局・桑原)

以下の点についてご報告いたします。

公共交通マップについては、正副会長のご指導もいただきながら、昨年度末に1万部を作成をしました。阪急バスと市で分け、阪急バスからは2,000部を芦屋川駅や、バスの車内で配っていただき、市からは8,000部を市内の公共施設、集会所等を中心に配布しました。市役所庁舎内では受付、市民課、お困りです課等の窓口に置きましたが、いずれも好評ですぐに持ち帰りいただけたようです。現在、行政経営課の手元に予備としていくつか保存しているものを除けば、ほぼ配布済みという状態です。

また、コミュニティバスの議論のきっかけとなった阪急バスの助成制度につきましては、今年度から高齢者の半額助成制度を復活しました。今後は、阪急バスが今年度中に実施する乗降客調査等もふまえて、高年福祉課と協議していくこととなります。

芦屋病院への直通バス路線につきましては、病院の地方独立行政法人化のなかで検討するとしていましたが、9月議会において定款が否決され、病院の今後についても再度検討を加えることとなりました。バス運行については、今後病院サイドで方法、ルート等を検討していくこととなります。

現在、阪急バスにおいて一部ルートの見直しを検討しておられるようです。できればこの場で紹介させていただきたかったのですが、まだ正式に報告できる段階ではないとのことですので、また決まり次第ご報告させていただきます。

今後は「バス事業者等との連絡調整会議」の中で、引き続き阪急バスとの協議を続けていきます。また平成22年の山手幹線全線開通にあたっては、ルートの見直し等について検討していただくようお願いしていきます。

(土井副会長)

バスマップについて、好評だったという報告だが、具体的な市民の意見とか感想はあったか

(事務局・桑原)

いずれも各窓口からの聞き取りなので、具体的なご意見は聞いていません。

(正司会長)

各委員において、もっとここを修正したら・・・等の意見や案がある方は、挙げていただきたい。

(土井副会長)

阪急バスとの相談になるが、バス停にこの地図をはる等の方法はとれないか。単に配布するだけでなく、その方が地図の活かしようがあるのでは。

(亀田委員)

地図にうっすらと町名を入れていただければ分かりやすいのではないか。それからこの地図を、市のホームページに貼り付けてダウンロードできるようにすれば、必要な人がプリントアウトできる。そのような方法も考えてみては。

(土井副会長)

転入してきた人に、転入手続きの窓口で渡してあげていただければ役に立つと思う。
もう在庫がないそうなので、増刷の必要があるが、転入者への提供を検討してほしい。

(榊原委員代理：住本氏)

今のところ増刷の予定は？

(事務局・桑原)

現在のところ予定していません。芦屋病院の件、それから少し先になりますが山手幹線の開通の時期には、大きなルート変更があると考えていますので。

(坂本委員)

マップの一番上「至苦楽園方面」の記載があるが、バス自身の前面には「阪急夙川」と行き先表示されており、一致していない。「苦楽園方面」の下にカッコ書きを添えるなど分かりやすいような工夫を。

(正司会長)

予算がないので、すぐに改訂版は出せないという状況であっても、そのままにしておくのではなく、修正箇所等について検討のうえ、準備を進めておいていただきたい。

(事務局・桑原)

いろいろご意見ありがとうございます。改良できる点は検討します。

(正司会長)

「芦屋病院への足」については具体的に議論は進んでいるのか

(事務局・桑原)

病院サイドでいろいろ意見を聞いて検討しているようです。

(正司会長)

すべてそうだが、予算に限りがあるなかでは、どこにお金をかけるのがもっともよいかという選択の問題になってくる。

山手幹線開通時のルートについては、もう市から具体的に要望しているのか。

(事務局・桑原)

まだ具体的な要望には入っていません。平成22年の開通に向け、もう少し目途がたってきたところで検討したいと思っています。

(正司会長)

今後は「バス事業者等との連絡調整会議」で検討していくということだが、その会議はどういったメンバーか。定期的に開催する会なのか。

(事務局・桑原)

バス事業者である阪急バスと、市の都市計画課、道路課、行政経営課がメンバーです。定期的ということではなく、課題に応じて随時開催しています。次回は、阪急バスのルートの見直しが確定した段階で、調整会議を持ちたいと考えています。

(室井議員)

芦有開発の売却問題について、奥池の路線がどうなるのかなど、市にはどのくらいの情報が入っているのか

(事務局・桑原)

マッコリーキャピタル証券(株)が芦有開発を買収する件については、株主総会での議決はまだ行われておらず、今地元説明会が進んでいる状況です。私も先日開催された説明会に参加しましたが、今はそこまでしか分かりません。これからの話になると思います。

(吉村委員代理・吉本氏)

マップの話に戻るが、地図の左下の運行経路に系統番号がふってあると、どうしても地図の中でその番号を探してしまうと思う。系統番号を地図に落とし込むとごちゃごちゃになってしまい、難しいとも思うが…。

(正司会長)

たしかに系統を地図で表示できれば一番よいが、系統数が大変多く、この大きさの地図には路線を描ききれなかった。今回はこの大きさにコンパクトにまとめることを優先した。

(室井委員)

市立芦屋学校はなくなったが、バス停の名称はまだこのままなのか。

(事務局・桑原)

バス停の名称としてはまだこのままです。

(正司会長)

バス停の名称には、やはり地元の呼び習わしというか、定着したものがあるのですぐには変更しないのかもしれない。ところでこのバスマップの印刷経費はどのぐらいか。

(事務局・桑原課長)

約13万円です。そのうち半分を阪急バスさんにご負担いただきました。

(正司会長)

せっかくこれだけのものが出来たのだから、予算がもし許せば増刷或いは改訂版の作成もぜひ考えていただきたい。

他にご意見のある方は

(事務局・桑原)

委員さんの任期は11月1日で終了しますが、今後の阪急バスの路線変更の件や、マップの改訂等がありましたら、またご報告させていただいたり、ご意見をお聞かせいただくこともあろうかと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

(正司会長)

我々も、今後は一市民或いは一利用者として、協力していきたいと思う。委員の皆さん今後ともよろしく願いします。では本日はこれをもって議事を終了します。